

# 胆道閉鎖症全国登録集計用紙 1/3 <追跡15年目>

追跡1年目対象年：1989年～2000年

対象年初回登録合計：1552例

死亡症例数：308例

追跡1年目登録総数：878例（70.6%）

肝移植あり転帰例		356	肝移植なし転帰例		493	不明例		29	
生存		286	生存		460	<b>3.自己肝肝機能検査(1998年以降)</b>			
黄疸なし生存		240	黄疸なし生存		365	肝機能検査(施行)数			448
黄疸あり生存		36	黄疸あり生存		78	総ビリルビン(mg/dl)			
不明		10	不明		17	最小		0.3	
死亡		10	死亡		5	最大		71.0	
不明		60	不明		28	平均		1.2	
死亡時日齢			死亡時日齢			標準偏差		3.5	
最小		2281	最小		370	ALT(IU/l)			
最大		5864	最大		5460	最小		1.0	
平均		4783.1	平均		3315.8	最大		571.0	
標準偏差		1180.8	標準偏差		2493.7	平均		38.4	
死亡原因			死亡原因			標準偏差		44.9	
肝不全		0	肝不全		1	γGTP(IU/l)			
食道静脈瘤破裂		0	食道静脈瘤破裂		1	最小		5.0	
肺炎		0	肺炎		0	最大		847.0	
腹膜炎		0	腹膜炎		0	平均		80.6	
胆管炎後敗血症		0	胆管炎後敗血症		0	標準偏差		99.1	
移植後死亡		5	移植後死亡		0	ChE(IU/l)			
死因不明		2	死因不明		0	正常範囲未満		96	
その他		4	その他		3	正常範囲以上		306	
(重複有り)			(重複有り)			不明		46	
ALP(IU/l)									
							正常範囲未満		74
							正常範囲以上		343
							不明		31

# 胆道閉鎖症全国登録集計用紙 2/3 <追跡15年目>

追跡1年目対象年：1989年～2000年

対象年初回登録合計：1552例

死亡症例数：308例

追跡1年目登録総数：878例（70.6%）

4.食道静脈瘤の有無			7.肝移植以外の手術		
あり		119	あり		37
(治療内容は重複あり)	治療なし	87	なし	肝門部再切離	0
	治療あり	32		肝門部搔爬	1
	内視鏡的治療または硬化療法	30		内視鏡的肝門部搔爬	0
	直達手術	0		その他	16
	シャント手術	0		不明	0
	その他	2		不明	123
	不明	1		不明	123
	治療内容不明	0		不明	123
なし		218	8.黄疸の再上昇		
不明		156	あり		138
5.脾機能亢進症の有無			なし		595
あり		145	不明		116
	治療なし	106	ありの場合		
	治療あり	37	再上昇前	黄疸なし	84
	部分的脾動脈塞栓術	27		黄疸軽度あり	48
	摘脾	9		不明	6
	その他	4	上昇原因	上行性胆管炎	72
	治療内容不明	1	(重複あり)	その他	55
	治療有無不明	2	最終対策	不明	14
なし		281	経過観察	39	
不明		67	保存的治療	76	
6.その他続発症			再根治手術	1	
腸閉塞症		10	肝移植	14	
静脈瘤以外の消化管出血		16	その他	12	
腹水		12	(重複あり) 不明	4	
脂溶性ビタミン欠乏症		8			
肝内結石		2			
肺高血圧症		7			
肝肺症候群		7			
胆管炎		84			
その他		70			
(重複有り)					

# 胆道閉鎖症全国登録集計用紙 3/3 <追跡15年目>

追跡1年目対象年：1989年～2000年

対象年初回登録合計：1552例

死亡症例数：308例

追跡1年目登録総数：878例（70.6 %）

肝移植あり転帰例		356	肝移植なし転帰例		493
9.精神知能発達程度			9.精神知能発達程度		
上		16	上		26
普通		249	普通		396
低		16	低		10
不明		75	不明		61
10.運動機能発達の程度			10.運動機能発達の程度		
上		14	上		30
普通		259	普通		394
低		8	低		6
不明		75	不明		63